

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

令和7年度 病害虫発生予察情報について（送付）



このことについて、発生予察注意報第1号（サトウキビのイナゴ類）を発表します。
なお、本情報は、病害虫防除所ホームページ（<https://www.pref.kagoshima.jp/ag13/kiad/boujosho/index.html>）にも掲載しています。

病害虫発生予察 注意報第1号

- 1 農作物名 サトウキビ
- 2 病害虫名 イナゴ類（バッタ科）【主な発生種】
【タイワンツチイナゴ： *Patanga succincta* (Johanson)】
- 3 対象地域 奄美地域
- 4 発 生 量 やや多

5 注意報発令の根拠

- (1) 令和7年8月4～14日の巡回調査の結果では、奄美地域におけるサトウキビほ場でのイナゴ類の発生ほ場率は40%（平年42%）と平年並みであるものの、徳之島では一部のほ場で7月より被害が進展し、発生程度が甚及び多のほ場も認められている（表1）。なお、8月調査で甚ほ場が認められたのは、過去20年間で初めてとなる。
- (2) 令和7年8月15日に徳之島の発生状況を補足調査（84ほ場調査）した結果、発生ほ場率は45%で、発生程度が中以上のほ場が15%（うち甚及び多ほ場が3%）確認された（表2）。
- (3) バッタ科に属するイナゴ類の主な発生種は、タイワンツチイナゴ（図1、図2）である。
- (4) タイワンツチイナゴは、主にほ場周辺のイネ科雑草からサトウキビほ場へ移動し、食害する。現在、サトウキビほ場では若齢から老齢幼虫及び成虫が確認されており、少発生のほ場においても、イナゴ類の成育に伴いサトウキビへの被害拡大が懸念される。

6 防除上注意すべき事項

- (1) イナゴ類の発生が多くみられるほ場では、別表を参考に防除に努める。農薬散布する際は、ラベルを十分に確認し、農薬使用基準を遵守する。また、近隣作物へのドリフト（飛散）を防ぐよう十分に注意する。なお、散布はイナゴ類の活動の鈍い早朝に実施すると効果的である。
- (2) 次年度に行う対策として、ほ場周辺のイネ科雑草はイナゴ類の発生源となるので、雑草の除去や耕耘に努める。

表1 サトウキビほ場でのイナゴ類の発生状況（巡回調査：8月）

調査島名	調査 ほ場数 (筆)	発生 ほ場数 (筆)	発生 ほ場率 (%)	発生程度別ほ場率 (%)				
				甚	多	中	少	無
熊毛地域（種子島）	5	0	0	0	0	0	0	100
平年	—	—	0	0	0	0	0	100
奄美大島	25	5	20	0	0	0	20	80
喜界島	5	2	40	0	0	0	40	60
徳之島	5	5	100	20	20	0	60	0
沖永良部島	5	1	20	0	0	0	20	80
与論島	5	5	100	0	0	0	100	0
奄美地域全体 本年	45	18	40.0	2.2	2.2	0.0	35.6	60.0
平年	—	—	42.0	0	0.2	0.6	41.2	58.0

注1) 調査年月日：令和7年8月4～14日

注2) 発生程度(食害面積率で判別) 甚：76%以上，多：51～75%，中：26～50%，少：1～25%

表2 徳之島におけるサトウキビほ場でのイナゴ類の発生状況（補足調査）

町	調査 ほ場数 (筆)	発生 ほ場数 (筆)	発生 ほ場率 (%)	発生程度別ほ場率 (%)				
				甚	多	中	少	無
徳之島町	22	11	50	5	5	5	36	50
天城町	32	7	22	0	0	3	19	78
伊仙町	30	20	67	3	0	27	37	33
徳之島全体	84	38	45	2	1	12	30	55

注1) 調査年月日：令和7年8月15日

注2) 発生程度（食害面積率で判別） 甚：76%以上，多：51～75%，中：26～50%，少：1～25%



図1 タイワンツチイナゴ（成虫）



図2 タイワンツチイナゴ（幼虫）

【タイワンツチイナゴ】

- ・成虫は体長60～80mm。紫黄褐～暗紫褐色の大型種。頭頂から前翅の接着部にかけて幅広い黄白色の縦帯がある。終齢幼虫は黄緑色で、体表に短い鋼毛がある。サトウキビやイネ科の牧草・雑草などを摂食する。多発すると葉は中肋を残して食害される。
- ・発生は年一化性である。卵・幼虫は4月から6月頃に、成虫は6月から8月頃にかけて出現する。卵期に干ばつが続くと多発しやすい。

別表 サトウキビのイナゴ類で登録のある農薬

農薬名	成分名	希釈倍率	散布量	使用時期	使用方法	本剤の使用回数	成分を含む農薬の総使用回数
サンケイسمチオン乳剤 (サンケイ化学)	MEP	1,000倍	100～ 300L/10a	収穫45日前まで	散布	4回以内	4回以内
		25倍	6L/10a	収穫45日前まで	無人航空機 による散布	4回以内	4回以内
ダントツフロアブル 協友ダントツフロアブル	クロチアジソン	2,500～ 5,000倍	100～ 300L/10a	収穫30日前まで	散布	3回以内	7回以内 (植付時までの処理は1回以内、 植付後の粒剤の処理は3回以内、 水和剤の処理は3回以内)
スタークル液剤10	ジメトフラン	1,000倍	100～ 300L/10a	収穫7日前まで	散布	3回以内	5回以内(粒剤は2回以内、 液剤、水溶剤及び水和剤は合計3回以内)
		14倍	2.4L/10a	収穫7日前まで	無人航空機 による散布	3回以内	5回以内(粒剤は2回以内、 液剤、水溶剤及び水和剤は合計3回以内)
スタークルメイト液剤10	ジメトフラン	1,000倍	100～ 300L/10a	収穫7日前まで	散布	3回以内	5回以内(粒剤は2回以内、 液剤、水溶剤及び水和剤は合計3回以内)
		14倍	2.4L/10a	収穫7日前まで	無人航空機 による散布	3回以内	5回以内(粒剤は2回以内、 液剤、水溶剤及び水和剤は合計3回以内)
キックオフ顆粒水和剤	クロラントリブ [®] ロール ジメトフラン	2,000倍	100～ 300L/10a	収穫30日前まで	散布	3回以内	クロラントリブ [®] ロールを含む農薬 4回以内(粒剤は1回以内、水和剤は3回 以内) ジメトフランを含む農薬 5回以内(粒剤は2回以内、液剤、水溶剤 及び水和剤は合計3回以内)

(登録内容は令和7年8月18日現在)